

令和5年度年間学習計画（シラバス）

教科名 地歴公民

科目名

総合社会

3年J選択

科目の目標	地理歴史・公民に関する基本的な知識や教養を幅広く学び、日本史・世界史・地理・政治経済など各分野の問題演習等をとおして、就職試験や公務員試験の一般常識試験に対応できる基礎学力や思考力を身に付ける。 尚栄GP（思考力・想像力・発信力）		
履修年次	3年次	単位数	2
授業の方法	一斉授業		
教科書 副教材	なし		
学習に必要な 物品・費用等	紙ファイル		
学習の目標	日本史・世界史・地理・政治経済など、地理歴史・公民各分野の問題演習等をとおして、就職試験や公務員試験の一般常識試験にも対応できる基礎学力や思考力を身に付ける。		
学習の内容と 主な学習活動 ・言語活動	(1) 日本史・世界史・地理・政治経済など各分野の問題を解き、就職試験や公務員試験などに対応できる基礎学力を身に付ける。 (2) ニュースや時事問題について、資料等を活用して論理的に思考し、思索を深め、自らの意見を説明したり対話したりする力を養う。		
学習の留意点	(1) 授業の導入を聞いた後、単元ごとに配布されるワークシートの作業を行う。 (2) 板書事項や重要事項はノートやプリントに書く。 (3) 指示があった時にはノートや課題を期日までに提出する。 (4) 配布されたプリントや資料はファイルに入れ、家庭学習・試験対策に活用する。		
評価方法	(1) 定期考査、ノート・課題提出などをもとに、評価の観点（「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」）に基づき、総合的に評価する。 (2) 授業態度や提出物の提出状況、ノート・プリントの整理の状況なども、評価材料とする。		

令和5年度 「総合社会」 年間学習計画

学期	月別	時間	単元	学習内容	評価の観点（評価規準）	考査等	
前期	4	7	政治経済	<ul style="list-style-type: none"> ・人権と民主主義 ・日本国憲法 ・国会・選挙 ・内閣・裁判所・三権分立 ・地方自治 ・資本主義経済 ・国民経済 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>日本史・世界史・地理・政治経済など各分野の基本事項について、意欲的に学び、課題に取り組んでいる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>ニュースや時事問題について、資料等を活用して論理的に思考し、自らの意見を説明したり対話したりすることができる。</p> <p>【資料活用の技能】</p> <p>課題のプリントに取り組み、自ら理解を深めるためのファイル作成や工夫をしている。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>日本史・世界史・地理・政治経済など各分野の基本事項を理解し、定着している。</p> <p>ニュースや時事問題について理解を深め、自らの意見や考えをまとめることができる。</p>	前期中間考査 ファイル提出	
	5	4 3					
	6	2 2	ニュース・時事問題	問題演習			
	7	5	政治経済	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済 ・国民経済 ・金融・財政・社会保障 ・国際社会 		<p>【資料活用の技能】</p> <p>課題のプリントに取り組み、自ら理解を深めるためのファイル作成や工夫をしている。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>日本史・世界史・地理・政治経済など各分野の基本事項を理解し、定着している。</p> <p>ニュースや時事問題について理解を深め、自らの意見や考えをまとめることができる。</p>	前期期末考査 ファイル提出
	8	3					
	9	5 3	日本史	<ul style="list-style-type: none"> ・古代 ・中世・近世 ・近代・現代 			
	2	ニュース・時事問題	・問題演習				
後期	10	4	世界史	<ul style="list-style-type: none"> ・古代・中世 ・近代・現代 ・東西冷戦・冷戦終結後 	<p>【資料活用の技能】</p> <p>課題のプリントに取り組み、自ら理解を深めるためのファイル作成や工夫をしている。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>日本史・世界史・地理・政治経済など各分野の基本事項を理解し、定着している。</p> <p>ニュースや時事問題について理解を深め、自らの意見や考えをまとめることができる。</p>	後期中間考査 ファイル提出	
		4	地理	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地形・気候 ・日本の産業 ・世界の地形・気候 ・世界の国々 			
	11	4 4	ニュース・時事問題	・問題演習			
	12	4	各分野のまとめ	・総合問題、演習		後期期末考査 ファイル提出	
	1	4	ニュース・時事問題	・問題演習			
計	60						

令和5年度年間学習計画（シラバス）

教科名 地理歴史

科目名

地理B

3年 Fz1・Fz2 選択

科目の目標	<p>現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p> <p style="text-align: center;">尚栄GP（思考力・想像力・発信力）</p>		
履修年次	3年次	単位数	4
授業の方法	一斉授業		
教科書 副教 材	<p>『新詳地理B』（帝国書院）</p> <p>『標準高等地図—地図で読む現代社会—』（帝国書院）</p> <p>『新詳地理資料 COMPLETE 2020』（帝国書院）</p>		
学習に必要な 物品・費用等	なし		
学習の目標	<p>(1) 自然環境の諸事象と人間生活との関わりを学ぶ。</p> <p>(2) 世界の諸地域を多面的・多角的に学習し、その多様な特色を理解する。</p> <p>(3) 各単元における基礎知識の定着をはかり、諸地域や世界が抱える課題の解決法を考察する。</p>		
学習の内容と 主な学習活動 ・言語活動	<p>(1) さまざまな地図と地理的技能 時差の求め方や地理情報の地図化などについて学びます。</p> <p>(2) 現代世界の系統地理的考察 自然環境、資源と産業、人口・村落・都市、生活文化・民族・宗教について、テーマごとの世界全図＝統計地図を多用し、世界の概観を学びます。</p> <p>(3) 現代世界の地誌的考察 世界の諸地域ごとに自然・歴史・文化・産業について学び、地域的特色や地球規模の課題に取組み、解決策を考察します。</p>		
学習の留意点	<p>(1) 授業に集中して取り組み、説明をきちんと聞くこと。</p> <p>(2) 板書事項や重要事項はノートやプリントに書くこと。</p> <p>(3) 指示があった時にはノートや課題を期日までに提出すること。</p> <p>(4) 配布されたプリントや資料はノートに貼るか、個別にファイルを用意して保管すること。</p>		
評価方法	<p>(1) 定期考査、小テスト、ノート・プリント・課題の提出などをもとに、評価の観点「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」に基づき総合的に評価する。</p> <p>(2) 授業態度や提出物の提出状況、ノート・プリントの整理の状況なども評価材料とする。</p>		

令和5年度 「地理B」 年間学習計画

学期	月別	時間	単元	学習内容	評価の観点（評価規準）	考査等
前期	4 5 6	35	第1部 さまざまな地図と地理的技能	○地理情報と地図 ○地図の活用と地域調査	【関心・意欲・態度】 地理的好奇心、関心を持ち主体的に取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 考察を通して、諸事象の規則性・関連性や特異性に気付くことができる。 【資料活用の技能】 ・読図によって正しい地理情報を得ることができる。 ・統計地図の作図や時差計算ができる。 【知識・理解】 ・諸事象間の関連性を理解している。 ・地理用語を正しく理解している。	定期考査 小テスト ノート提出 プリント・課題提出
	7 8 9		第2部 現代世界の系統地理的考察	○自然環境 ・世界の地形 ・世界の気候 ・日本の自然の特徴と人々の生活 ・環境問題	【関心・意欲・態度】 地理的好奇心、関心を持ち主体的に取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 考察を通して、諸事象の規則性・関連性や特異性に気付くことができる。 【資料活用の技能】 ・統計地図の作図や時差計算ができる。 【知識・理解】 ・諸事象間の関連性を理解している。 ・地理用語を正しく理解している。	定期考査 小テスト ノート提出 プリント・課題提出
後期	10 11 12	39	第3部 現代世界の地誌的考察	○現代世界の地域区分 ○現代世界の諸地域 ・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア ・北アフリカとサハラ以南のアフリカ	【関心・意欲・態度】 地理的好奇心、関心を持ち主体的に取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 ・諸地域と日本とのつながりを考察することができる。 ・諸地域間の関連性や特異性に気付くことができる。 【知識・理解】 ・諸地域の特徴を理解している。 ・地理用語を正しく理解している。	定期考査 小テスト ノート提出 プリント・課題提出
	1 2 3			・ヨーロッパ ・ロシア ・アンゴロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア ○現代世界と日本	【関心・意欲・態度】 地理的好奇心、関心を持ち主体的に取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 ・諸地域と日本とのつながりを考察することができる。 ・諸地域間の関連性や特異性に気付くことができる。 【知識・理解】 ・諸地域の特徴を理解している。 ・地理用語を正しく理解している。	定期考査 小テスト ノート提出 プリント・課題提出
計		140				

令和5年度年間学習計画（シラバス）

教科名 地理歴史

科目名

日本史 A

3年共通

科目の目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け現代の諸課題に着目して考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。 身に付けさせたい資質・能力（探究心・思考力・知識）		
履修年次	3年次	単位数	2
授業の方法	一斉授業		
教科書 副教材	『高等学校 改訂版日本史 A 人・くらし・未来』（第一学習社） 『プロムナード日本史』（浜島書店）		
学習に必要な 物品・費用等	なし		
学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> (1) 近現代史を中心に、日本で起こった歴史上の基本的な知識を習得する。 (2) 地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、現代日本の諸課題を歴史的観点から考察したり判断したりする能力を身に付ける。 		
学習の内容と 主な学習活動 ・言語活動	<ol style="list-style-type: none"> (1) 教科書や資料集をもとに、歴史上の諸事象に対する興味や関心を持つ能力を身に付ける。 (2) ノートやプリントの作成をとおして、歴史的事象についての情報を適切に選択し、まとめる学び方を身に付ける。 (3) 授業や定期考査・小テストをとおして、日本の歴史についての基本的な知識を身に付ける。 		
学習の留意点	<ol style="list-style-type: none"> (1) 授業に集中して取り組み、説明をきちんと聞くこと。 (2) 板書事項や重要事項はノートやプリントに書くこと。 (3) 指示があった時にはノートや課題を期日までに提出すること。 (4) 配布されたプリントや資料はノートに貼るか、個別にファイルを用意して保管すること。 		
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> (1) 定期考査、小テスト、ノート・課題提出などをもとに、評価の観点「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」に基づき総合的に評価する。 (2) 授業態度や提出物の提出状況、ノート・プリントの整理の状況なども評価材料とする。 		

令和5年度 「日本史A」年間学習計画

学期	月別	時間	単元	学習内容	評価の観点（評価規準）	考查等
前期	4 5 6	18	近代への胎動 開国と幕末の動乱 近代国家の形成	開国後の国内の状況、攘夷運動から討幕運動へと至る江戸末期の出来事について学ぶ。 明治政府による諸制度の改革による社会の変化や、自由民権運動によって近代的な政治体制が整えられていく過程を学ぶ。	【関心・意欲・態度】 近代日本が形成された過程に関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。 【資料活用の技能】 近代日本の成立の過程や流れ、重要事項について、ノートにまとめることができている。 【知識・理解】 近代日本の形成に関わる基本的な知識を身に付けている。	定期考查 小テスト ノート提出
	7 8 9	15	国際関係の推移と 近代産業の発展 第一次世界大戦と 日本	明治時代の外交政策や日清戦争と日露戦争の過程、国内外に与えた影響を中心に学ぶ。 明治期に起こった近代産業や国内文化の発展について学ぶ。 大正時代の内政・外交・文化の変遷や出来事を、世界との関わりを踏まえながら学ぶ。	【関心・意欲・態度】 日本の外交政策や諸外国との関わりについて関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。 【資料活用の技能】 条約改正や日清・日露戦争・第一次世界大戦の過程や流れ、重要事項をノートにまとめることができている。 【知識・理解】 条約改正や諸戦争の原因・経過・結果その影響について、日本がとった外交政策や基本的な知識を身に付けている。	定期考查 小テスト ノート提出
後期	10 11	17	第二次世界大戦と 日本 日本の再出発	日本が深刻な不況をきっかけに中国大陸への進出や太平洋戦争に至った経緯や出来事について学ぶ。 終戦後、連合国の占領を受けた日本がどのように復興していくのかを、世界情勢の関わりと関連付けて学ぶ。	【関心・意欲・態度】 日本が戦争を推進し、敗戦に至るまでの経緯や、戦争における民衆の関わりについて関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。 【資料活用の技能】 日本が中国大陸への進出や太平洋戦争に至った経緯や流れ、重要事項をノートにまとめることができている。 【知識・理解】 日本の対外進出・戦争・敗戦後の復興に関する基本的な知識を身に付けている。	定期考查 小テスト ノート提出
	12 1	10	独立後の政治と 経済の発展 現代の日本と世界	急速な経済成長が進み、日本が経済大国になっていった過程や、当時の社会・国際状況について学ぶ。 現在の日本が抱える諸問題について学ぶ。	【関心・意欲・態度】 戦後日本の急速な経済成長や、当時の社会・国際状況について関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。 【資料活用の技能】 現代日本の出来事や流れ、重要事項をノートにまとめることができている。 【知識・理解】 現在の日本が抱える経済や社会に関わる諸問題について理解している。	定期考查 小テスト ノート提出
計		60				

令和5年度年間学習計画（シラバス）

教科名 地理歴史

科目名

日本史B

3年F・G・H選択

科目の目標	<p>我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的要件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察し、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めることによって、歴史的考察力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p> <p>尚栄GP（思考力・想像力・発信力）</p>		
履修年次	3年次	単位数	4
授業の方法	一斉授業		
教科書 副教材	山川出版社『高校日本史B』 浜島書店『プロムナード日本史』		
学習に必要な 物品・費用等	なし		
学習の目標	(1) 日本史の基礎的な知識の習得を図るとともに、歴史的な観点から物事を見る能力を養い、現代社会を多面的に考察する力を身に付ける。 (2) 日本の文化や、伝統の特色についての認識を深める。		
学習の内容と 主な学習活動 ・言語活動	(1) 教科書や資料集をもとに、日本の歴史上の諸事象に対する興味や関心を持つ能力を身に付ける。 (2) ノートやプリントの作成をとおして、歴史的事象についての情報を適切に選択し、まとめる学び方を身に付ける。 (3) 授業や定期考査・小テストをとおして、日本の歴史についての基本的な知識を身に付ける。		
学習の留意点	(1) 授業に集中して取り組み、説明をきちんと聞くこと。 (2) 板書事項や重要事項はノートやプリントに書くこと。 (3) 指示があった時にはノートや課題を期日までに提出すること。 (4) 配布されたプリントや資料はノートに貼るか、個別にファイルを用意して保管すること。		
評価方法	(1) 定期考査、小テスト、ノート・課題提出などをもとに、評価の観点「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」に基づき総合的に評価する。 (2) 授業態度や提出物の提出状況、ノート・プリントの整理の状況なども評価材料とする。		

令和5年度 「日本史B」年間学習計画

学期	月別	時間	単元	学習内容	評価の観点（評価規準）	考查等
前期	4 5 6	10 15 12	第一章 日本文化のあけぼの 第二章 古代国家の形成 第三章 古代国家の展開 第四章 宮廷貴族社会の成立	日本文化の成り立ちや、古代国家の成立の過程を学ぶ。 大化の改新後の中央集権成立の過程や律令制度、諸外国との交流について学ぶ。 奈良時代及び平安時代の政治の流れや仏教の特色、文化の発展について学ぶ。	【関心・意欲・態度】 古代日本の成り立ちや古代国家の成立の過程に関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。 【資料活用の技能】 古代日本に関する重要事項をノートにまとめることができている。 【知識・理解】 古代日本の形成に関わる基本的な知識を身に付けている。	定期考查 小テスト ノート提出
	7 8 9	10 8 12	第五章 武家政権の成立 第六章 中世社会の展開 第七章 幕藩体制の確立 第八章 幕藩体制の展開	鎌倉幕府の全国的政権化の過程や、北条氏による政権政治の成立過程とその内容を学ぶ。 室町幕府の政治の仕組みや外交、応仁の乱による幕府権威の失墜に至る過程を学ぶ。 織田信長の統一事業、豊臣秀吉の全国統一、徳川家康の台頭と江戸幕府成立の過程を学ぶ。 江戸幕府の幕藩体制や鎖国の過程や影響について学ぶ。	【関心・意欲・態度】 鎌倉・室町両幕府～戦国時代・江戸幕府の成立に至る過程について関心を持ち意欲的に学ぼうとしている。 【資料活用の技能】 中世の日本の歴史に関する重要事項をノートにまとめることができている。 【知識・理解】 中世日本の形成に関わる基本的な知識を身に付けている。	定期考查 小テスト ノート提出
後期	10 11	15 15	第九章 幕藩体制の動揺 第十章 近代国家の成立 第十一章 立憲国家の成立と日清・日露戦争 第十二章 大正デモクラシーと政党政治	開国後の国内の状況や江戸末期の出来事、明治政府による諸制度の改革による社会の変化について学ぶ。 明治時代の外交政策や日清戦争と日露戦争の過程を学ぶ。 大正時代の内政・外交・文化の変遷や出来事を学ぶ。	【関心・意欲・態度】 近代日本の形成や諸政策、諸外国との関わりに関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。 【資料活用の技能】 近代日本の成立の過程や流れ、重要事項について、ノートにまとめることができている。 【知識・理解】 近代日本の形成に関わる基本的な知識を身に付けている。	定期考查 小テスト ノート提出
	12 1	15 8	第十三章 第二次世界大戦と日本 第十四章 占領と国際復帰 第十五章 55年体制と高度経済成長 第十六章 冷戦終了と55年体制の崩壊	日本が中国大陸への進出や太平洋戦争に至った経緯や出来事について学ぶ。 終戦後、日本がどのように復興していくのかを学ぶ。 日本が経済大国になっていった過程や、現在の日本が抱える諸問題について学ぶ。	【関心・意欲・態度】 日本が戦争を推進し、敗戦に至るまでの経緯や、戦後の急速な経済成長、当時の社会・国際状況について関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。 【資料活用の技能】 現代日本の出来事や流れ、重要事項をノートにまとめることができている。 【知識・理解】 現在の日本が抱える経済や社会に関わる諸問題について、世界の動きと関連付けて理解している。	定期考查 小テスト ノート提出
計		120				

令和5年度 北海道美唄尚栄高等学校シラバス

教科	地歴公民科	科目(選択群)	公共(2年共通)	単位数	2単位
科目の目標		<p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>			
特に身に付けたい力(尚栄GP)		思考力、行動力、発信力			
教科書・副教材		「新公共」(第一学習社) 「最新公共資料集2023」(第一学習社)			
学習上の留意点		(1) 常に自主的に学習する姿勢を持ち、集中して授業に取り組みましょう。 (2) グループ学習では他人の意見や話をよく聞き理解し、自分が意見を述べるときには、相手に自分の考えがきちんと伝わるよう工夫しましょう。 (3) 配付されたプリントなどは、紛失させることのないようにしっかりと保管しましょう。 (4) 課題のプリントやノートは期日を守って提出しましょう。			

評価の観点、観点別学習状況の評価基準

評価の観点	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
評価基準	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
A 十分満足できる	現代の諸課題についてしっかりと理解しているとともに、諸資料から様々な情報をしっかりと調べることができる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を、多面的・多角的にしっかりと考察することができ、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることがしっかりとできる。	現代の諸課題について、見通しを持って学習にしっかりと取り組みようとしており、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりをしっかりと見いだそうとしている。
B おおむね満足できる	現代の諸課題についておおむね理解しているとともに、諸資料から様々な情報をおおむね調べることができる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理をおおむね考察することができ、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論することがおおむねできる。	現代の諸課題について、見通しを持って学習におおむね取り組みようとしており、学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりをおおむね見いだそうとしている。
C 努力を要する	現代の諸課題について理解していないとともに、諸資料から様々な情報を調べることができない。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を、考察することができなく、考察したことを説明したり、議論したりすることができない。	現代の諸課題について、見通しを持って学習に取り組めず、学習を振り返り、次の学習へのつながりを見いだせない。
評価方法	単元テスト、小テスト、学習課題	単元テスト、学習課題、ノートやワークシートの記述内容、授業での取り組み状況など	学習課題、ノートやワークシートの記述内容、授業での取り組み状況など

令和5年度 「公共」年間学習計画

学期	時間	単元・学習内容	評価の観点（評価規準）	ICT活用の場面
前期	7	公共的な空間をつくる私たち	<p>【知識・技能】 社会地域や他者との協働、法や規範に基づく運用などを理解して、さらに諸資料からそれらに関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる事ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 社会地域や他者との協働、法や規範に基づく運用について、さまざまな事柄に触れながら考察し、それを効果的に他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に沿って積極的に学習に取り組み、自分自身との関わりに着目しながら学習を振り返ることができる。</p>	<p>前時の振り返り</p> <p>学習の記録</p> <p>既習事項定着度合いを確認する小テスト</p> <p>写真や動画などの参考資料の提示</p> <p>プレゼンテーションの作成、発表、相互評価</p>
	6	公共的な空間における人間としてのあり方生き方		
	10	公共的な空間における基本的原理		
	12	法的な主体となる私たち		
後期	12	政治的な主体となる私たち	<p>【知識・技能】 国内政治や国際政治の諸問題や経済活動の諸問題を理解し、諸資料からそれらに関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる事ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 国内政治や国際政治の諸問題や経済活動の諸問題について、さまざまな事柄に触れながら考察し、それを効果的に他者に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に沿って積極的に学習に取り組み、自分自身との関わりに着目しながら学習を振り返ることができる。</p>	<p>前時の振り返り</p> <p>学習の記録</p> <p>既習事項定着度合いを確認する小テスト</p> <p>写真や動画などの参考資料の提示</p> <p>話し合いのための情報収集</p>
	19	経済的な主体となる私たち		
	4	持続可能な社会づくりの主体となる私たち		
計	70			

令和5年度 北海道美唄尚栄高等学校シラバス

教科	地歴公民科	科目(選択群)	地理総合(2年共通)	単位数	2単位
科目の目標		<p>(1) 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。</p> <p>(2) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(3) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(4) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。</p>			
特に身に付けたい力(尚栄GP)		思考力、行動力、発信力			
教科書・副教材		「高等学校 新地理総合」(帝国書院) 「標準高等地図」(帝国書院)			
学習上の留意点		<p>(1) 常に自主的に学習する姿勢を持ち、集中して授業に取り組むこと。</p> <p>(2) グループ学習では他人の意見や話をよく聞き理解し、自分が意見を述べるときには、相手に自分の考えがきちんと伝わるよう工夫すること。</p> <p>(3) 配付されたプリントなどは、紛失させることのないように各自保管すること。</p> <p>(4) 課題のプリントやノートは期日を守って提出すること。</p>			

評価の観点、観点別学習状況の評価基準

評価の 観点 評価基準	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
A 十分満足 できる	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、地球的課題への取組などを理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて自らの考えを効果的に説明したり、議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家および社会の形成者としてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとしている。
B おおむね 満足できる	地理に関わる諸事象についておおむね理解しているとともに、諸資料から様々な情報をおおむね調べることができる。	地理に関わる事象の意味や意義特色などをおおむね考察することができ、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論することが概ねできる。	地理に関わる諸事象について、見通しを持って学習におおむね取り組もうとしており、学習を振り返り次の学習へのつながりを概ね見いだそうとしている。
C 努力を要 する	地理に関わる諸事象について十分に理解しておらず、諸資料から様々な情報を調べることができない。	地理に関わる事象の意味や意義特色などを考察することができず、考察したことを説明したり議論することができない。	地理に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組めず、学習を振り返り、次の学習へのつながりを見いだせない。
評価方法	単元テスト、小テスト、学習課題	単元テスト、学習課題、ノートやワークシートの記述内容、授業での取り組み状況など	学習課題、ノートやワークシートの記述内容、授業での取り組み状況など

令和5年度 「地理総合」 年間学習計画

学期	時間	単元・学習内容	評価の観点（評価規準）	I C T活用の場面
前期	6	地図と地理情報システム	<p>【知識・技能】さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】地図や地理情報システムについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとしている。</p>	<p>前時の振り返り</p> <p>学習の記録</p> <p>既習事項定着度合いを確認する小テスト</p> <p>写真や動画などの参考資料の提示</p>
	7	結び付きを深める現代世界	<p>【知識・技能】さまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、国内や国家間の結び付きについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】現代世界の地域構成について、世界的視野から見た日本や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとしている。</p>	<p>プレゼンテーションの作成、発表、相互評価</p>
	22	生活文化の多様性と国際理解	<p>【知識・技能】人々の生活文化が地理的環境の影響によって多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】自然及び社会的条件との関わりなどに着目して主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとしている。</p>	
後期	20	地球的課題と国際協力	<p>【知識・技能】地球環境問題、資源・エネルギー問題などの地球的課題について、各地で共通する傾向性や課題相互の関連性について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して主題を設定し、現状や解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとしている。</p>	<p>前時の振り返り</p> <p>学習の記録</p> <p>既習事項定着度合いを確認する小テスト</p> <p>写真や動画などの参考資料の提示</p>
	10	自然環境と防災	<p>【知識・技能】地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応の重要性などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】自然及び社会的条件との関わりなどに着目して主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとしている。</p>	<p>話し合いのための情報収集</p>
	5	生活圏の調査と地域の展望	<p>【知識・技能】生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する方法などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】生活圏内外の結び付きや地域の変容などに着目して主題を設定し、課題解決への取組などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとしている。</p>	
計	70			

令和5年度 北海道美唄尚栄高等学校シラバス

教科	地歴公民科	科目(選択群)	日本史探究(2年選択C)	単位数	3単位
科目の目標	(1) 日本の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、日本の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 日本の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 日本の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。				
特に身に付けたい力(尚栄GP)	思考力、行動力、発信力				
教科書・副教材	「高校日本史」(山川出版社) 「新詳日本史」(浜島書店)				
学習上の留意点	(1) 常に自主的に学習する姿勢を持ち、集中して授業に取り組みましょう。 (2) グループ学習では他人の意見や話をよく聞き理解し、自分が意見を述べるときには、相手に自分の考えがきちんと伝わるよう工夫しましょう。 (3) 配付されたプリントなどは、紛失させることのないようにしっかりと保管しましょう。 (4) 課題のプリントやノートは期日を守って提出しましょう。				

評価の観点、観点別学習状況の評価基準

評価の観点	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
評価基準	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	日本の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察することができ、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	日本の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしているとともに、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。
A 十分満足できる	日本の歴史についてしっかりと理解しているとともに、諸資料から様々な情報をしっかりと調べることができる。	日本の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的にしっかりと考察することができ、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることがしっかりとできる。	日本の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習にしっかりと取り組もうとしており、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりをしっかりと見いだそうとしている。
B おおむね満足できる	日本の歴史についておおむね理解しているとともに、諸資料から様々な情報をおおむね調べることができる。	日本の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などをおおむね考察することができ、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることがおおむねできる。	日本の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習におおむね取り組もうとしており、学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりをおおむね見いだそうとしている。
C 努力を要する	日本の歴史について理解していないとともに、諸資料から様々な情報を調べることができない。	日本の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、考察することができなく、考察したことを説明したり、議論したりすることができない。	日本の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組めず、学習を振り返り、次の学習へのつながりを見いだせない。
評価方法	単元テスト、小テスト、学習課題	単元テスト、学習課題、ノートやワークシートの記述内容、授業での取り組み状況など	学習課題、ノートやワークシートの記述内容、授業での取り組み状況など

令和5年度 「日本史探究」年間学習計画

学期	時間	単元・学習内容	評価の観点（評価規準）	ICT活用の場面
前期	6	日本文化のあけぼの	【知識・技能】 原始から近世初期の政治的経済的な歴史事象を理解して、さらに諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる事ができる。 【思考・判断・表現】 原始から近世初期の政治的経済的な歴史事象の変化について、さまざまな事柄に触れながら（時期や年代、推移や比較、相互の関連や現在とのつながり）考察し、それを効果的に他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に沿って積極的に学習に取り組み、自分自身との関わりに着目しながら学習を振り返ることができる。	前時の振り返り
	4	古墳とヤマト政権		学習の記録
	6	律令国家の形成		既習事項定着度合いを確認する小テスト
	4	貴族政治の展開		写真や動画などの参考資料の提示
	5	院政と武士の進出		プレゼンテーションの作成、発表、相互評価
	6	武家政権の成立		
	8	武家社会の成長		
	5	近世の幕開け		
後期	11	幕藩体制の成立と展開	【知識・技能】 近世から現代の政治的経済的な歴史事象を理解し、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる事ができる。 【思考・判断・表現】 近世から現代の政治的経済的な歴史事象の変化について、さまざまな事柄に触れながら（時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながり）考察し、それを効果的に他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に沿って積極的に学習に取り組み、自分自身との関わりに着目しながら学習を振り返ることができる。	前時の振り返り
	7	幕藩体制の動揺		学習の記録
	6	近世から近代へ		既習事項定着度合いを確認する小テスト
	5	近代国家の成立		写真や動画などの参考資料の提示
	7	近代国家の展開と国際関係		話し合いのための情報収集
	4	近代の産業と生活		
	9	恐慌と第二次世界大戦		
	12	現代の世界と日本		
計	105			

令和5年度 北海道美唄尚栄高等学校シラバス

教科	地歴公民科	科目(選択群)	歴史総合(1年共通)	単位数	2単位
科目の目標	(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。				
特に身に付けたい力(尚栄GP)	思考力、行動力、発信力				
教科書・副教材	「新選歴史総合」(東京書籍) 「ダイアログ歴史総合」(第一学習社)				
学習上の留意点	(1) 常に自主的に学習する姿勢を持ち、集中して授業に取り組みましょう。 (2) グループ学習では他人の意見や話をよく聞き理解し、自分が意見を述べるときには、相手に自分の考えがきちんと伝わるよう工夫しましょう。 (3) 配付されたプリントなどは、紛失させることのないようにしっかりと保管しましょう。 (4) 課題のプリントやノートは期日を守って提出しましょう。				

評価の観点、観点別学習状況の評価基準

評価の観点	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
評価基準	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察することができ、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしているとともに、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。
A 十分満足できる	近現代の歴史についてしっかりと理解しているとともに、諸資料から様々な情報をしっかりと調べることができる。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的にしっかりと考察することができ、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることがしっかりとできる。	近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習にしっかりと取り組もうとしており、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりをしっかりと見いだそうとしている。
B おおむね満足できる	近現代の歴史についておおむね理解しているとともに、諸資料から様々な情報をおおむね調べることができる。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などをおおむね考察することができ、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論することがおおむねできる。	近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習におおむね取り組もうとしており、学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりをおおむね見いだそうとしている。
C 努力を要する	近現代の歴史について理解していないとともに、諸資料から様々な情報を調べることができない。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、考察することができなく、考察したことを説明したり、議論したりすることができない。	近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組めず、学習を振り返り、次の学習へのつながりを見いだせない。
評価方法	単元テスト、小テスト、学習課題	単元テスト、学習課題、ノートやワークシートの記述内容、授業での取り組み状況など	学習課題、ノートやワークシートの記述内容、授業での取り組み状況など

令和5年度 「歴史総合」年間学習計画

学期	時間	単元・学習内容	評価の観点（評価規準）	I C T活用の場面
前期	15	結び付く世界と日本の開国	【知識・技能】 幕末から明治期の政治的経済的な歴史事象を理解して、さらに諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる事ができる。 【思考・判断・表現】 幕末から明治期の政治的経済的な歴史事象の変化について、さまざまな事柄に触れながら（時期や年代、推移や比較、相互の関連や現在とのつながり）考察し、それを効果的に他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に沿って積極的に学習に取り組み、自分自身との関わりに着目しながら学習を振り返ることができる。	前時の振り返り 学習の記録 既習事項定着度合いを確認する小テスト 写真や動画などの参考資料の提示 プレゼンテーションの作成、発表、相互評価
	17	国民国家と明治維新		
	3	近代化と現代的な諸課題		
後期	9	第一次世界大戦と大衆社会	【知識・技能】 大正期から平成期の政治的経済的な歴史事象を理解し、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる事ができる。 【思考・判断・表現】 大正期から平成期の政治的経済的な歴史事象の変化について、さまざまな事柄に触れながら（時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながり）考察し、それを効果的に他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に沿って積極的に学習に取り組み、自分自身との関わりに着目しながら学習を振り返ることができる。	前時の振り返り 学習の記録 既習事項定着度合いを確認する小テスト 写真や動画などの参考資料の提示 話し合いのための情報収集
	9	経済危機と第二次世界大戦		
	2	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題		
	8	冷戦と世界経済		
	7	世界秩序の変容と日本		
計	70			

令和5年度年間学習計画（シラバス）

教科名 公民

科目名

政治・経済

3年I選択

科目の目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。 身に付けさせたい資質・能力（探究心・思考力・知識）		
履修年次	3年次	単位数	2
授業の方法	一斉授業		
教科書 副教材	『高等学校 現代 政治・経済 改訂版』（清水書院） 『最新現代社会資料集2022』（第一学習社）		
学習に必要な 物品・費用等	紙ファイル		
学習の目標	(1) 政治・経済に関する基本的事項を把握・理解し、それらの知識を基礎として政治的経済的思考力を培う。 (2) 自国の政治・経済体制をより客観的に見る目を育み、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。		
学習の内容と 主な学習活動 ・言語活動	(1) 政治経済における特質や問題について講義形式で学んでいく。また、社会における教養を身に付けていく。 (2) 政治体制、経済について学ぶことで我々が生きる社会がどのように成り立ち、動いているのか、また政治経済の理論を学習し、日常のニュースについて理解できるようになる。 (3) 社会問題に関する知識をもとに、我々はどのようにして社会に参画していくのかを考える。		
学習の留意点	(1) 提出物はしっかり取り組み提出すること。 (2) レポートを通じて、資料やデータをもとに個人の感想・意見がまとめられるようにすること。 (3) プリントや資料を配布することがあるので、個別にファイルを用意するなど無くさないように工夫すること。 (4) 科目の特性上、日ごろからニュースを見るなど、社会事象について興味を持つこと。		
評価方法	「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「資料活用の技能」「知識・理解」の4観点をもとに総合的に評価します。 (1) 定期考査では出題範囲に関する「知識・理解」の状況の評価するとともに論述問題等をとおして「思考・判断・表現」の状況の評価します。 (2) 夏季休業中の課題も含め、レポート学習等を通じて自身の感想・意見を筋道をたてて的確に表現できるかなど、総合的に評価します。 (3) 個人の評価にあたっては、授業態度、出席状況、提出物の提出状況、プリントの管理状況などを含めて(1)(2)とともに総合的に評価します。		

令和5年度 「政治・経済」年間学習計画

学期	月別	時間	単元	学習内容	評価の観点（評価規準）	考查等		
前期	4	6	現代の政治 1. 民主政治の基本 原理 2. 日本国憲法 3. 基本的人権の保 障	<ul style="list-style-type: none"> 近代民主政治の発展 日本国憲法の基本的性格 法の下での平等 自由権的基本権 社会権的基本権 新しい人権 	<p>【関心・意欲・態度】：全単元共通</p> <p>政治・経済の特質を理解し、我々がどのような社会を形成していくのかを考え、意欲的に質問・発言・発表しようとしている。</p> <p>【資料活用の技能】：全単元共通</p> <p>プリントに取り組み、自ら理解を深めるためのノート作成・工夫をしている。</p> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民主政治を歴史的かつ原理的に理解している。 日本国憲法の特性と意義、歴史的経験に学ぶことの重要性を理解している。 日本国憲法における、様々な保障規定や、その歴史的背景について理解している。 基本的人権の基本概念・判例を理解している。 	前期中間考查 ノート提出		
	5	10						
	6							
前期	7	10	4. 国民主権と政治 機構	<ul style="list-style-type: none"> 国会の仕組みと働き 内閣の仕組みと働き 裁判所の仕組みと働き 地方自治 	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> わが国の政治機構の構造と機能を、国民主権の観点からや権力分立の観点から理解している。 	前期末考查 ノート提出		
	8							
	9	4					5. 現代日本の政治	<ul style="list-style-type: none"> 政党政治 <p>・日本の制度の問題点を考え、行政改革や政治改革の在り方について考察することができる。</p>
後期	10	4	6. 国際政治と日本	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会と国際法 国際連合 国際政治の動向 	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会の成立、発展の歴史的背景を踏まえ、現代の国際関係を動かす基本的要因を政治的・経済的、文化的視点などから理解している。 資本主義経済の仕組みとその特徴を理解している。 市場の果たす機能を理解する。 金融や財政の仕組みを理解するとともに、生産活動や日常生活に対して金融政策や財政政策がいかに大きな影響を及ぼしているかを理解している。 	後期中間考查 ノート提出		
	11	6					現代の経済 1. 経済社会と経済 体制 2. 現代経済のしく み	<ul style="list-style-type: none"> 経済社会の変容 市場機構とその働き 資金の循環と金融の働き 財政の仕組みと働き
	12	10						
後期	12	6	3. 労働と社会保障	<ul style="list-style-type: none"> 労働基本権と雇用問題 社会保障の成立と発展 	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法における労働基本権の保障と労働三法の基本的な内容を体系的に理解している。 わが国の社会保障制度の基本理念と基本的な枠組みを理解している。 自由貿易と保護貿易の長所、短所を比較して理解している。 	後期末考查 ノート提出		
	1	4	4. 世界の経済と日本	<ul style="list-style-type: none"> 貿易収支と国際収支 				
計		60						

